



常磐大学国際被害者学研究所第4回シンポジウム
Tokiwa International Victimology Institute 4th Symposium



被害者のためのグローバル・スタンダード: 「国連被害者人権条約」の制定をめざして



Raising the Global Standards for Victims:
The Proposed Convention on Justice for Victims of Crime and Abuse of Power

2008年 February 15 (Fri) & 16 (Sat), 2008

2月15日(金)・16日(土) 参加費 無料

会場：常磐大学（見和キャンパス）

Place: Tokiwa University, Miwa Campus, Mito, Ibaraki

※プログラム詳細は裏面をご覧下さい。
Please see the detailed program on the back.

2月15日(金) 9:30~17:30 常磐大学H棟(大講堂)

○基調講演 & パネルディスカッション

※日・英同時通訳が付きます

2月16日(土) 9:30~16:10 常磐大学Q棟

○基調講演 & グループディスカッション

※英語のみとなります

＜お申込み方法＞

参加ご希望の方は、2月8日(金)までに、裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX、または郵送にてお送り下さい。同じ内容をE-mailで送信いただいても結構です。なお、ご来場の際には公共の交通機関をご利用下さい。

Please register yourself by sending the application form on the back by fax or e-mail by February 8. For more information, please contact us at followings.

お問合せ・お申込み先：常磐大学国際被害者学研究所

水戸市見和1-430-1

TEL: 029-232-2865, FAX: 029-232-2522

e-mail: tivi@tokiwa.ac.jp (担当：坂場、大竹)

<http://www.tokiwa.ac.jp/~tivi/index.html>



主催：常磐大学

“被害者の尊厳”が高らかに謳われた「犯罪および権力濫用の被害者のための正義に関する基本原則宣言」が1985年に国連総会で採択されてから20余年、欧米を中心に被害者施策が充実していく中、わが国でも、1990年代半ばから、様々な事件、事故、災害を通じて被害者への関心が高まり、多くの被害者の声に後押しされながら、法制度の整備が大きく進展を遂げました。しかしながら、グローバル化が急激に浸透している今日、自国の政策を充実させるだけでなく、より多くの国々と共通認識を図り、被害者への対応の底上げに取り組むことが急務となっており、国連の役割に期待が寄せられています。

今回のシンポジウムは、将来的な条約採択に照準を合わせ、各国の専門家らとの活発な意見交換を通して、犯罪および権力濫用の被害者のための国際基準を、「宣言」から「条約」へと格上げしていく方策を練る機会として企画されました。被害者の声を、国を超え、未来につなぐ貴重な機会に、ぜひご参加ください。

講師およびパネリスト Lecturers and Panelists

※アルファベット順
In alphabetical order

- 相澤 恵一 Keiichi Aizawa
国連アジア極東犯罪防止研修所所長
- クマラヴェル・チョカリンガム Kumaravel Chockalingam
常磐大学国際被害者学研究所教授
- ジョン・ドゥーシッチ John Dussich
常磐大学国際被害者学研究所所長
- サム・ガルカウエ Sam Garkawe
オーストラリア・サザンクロス大学助教授
- マーク・グルーエンヒュイゼン Marc Groenhuizen
オランダ・ティルバーグ大学国際被害者学研究所所長
- ジャニス・ジョセフ Janice Joseph
米国・リチャード・ストックトン大学教授
- ゲルド・キルヒホッフ Gerd Kirchhoff
常磐大学国際被害者学研究所教授
- カレン・マクローリン Karen McLaughlin
米国・ボストン警察人身売買特別委員会委員長
- 緒澤 英道 Hidemichi Morosawa
学校法人常磐大学理事長
- 大谷 美紀子 Mikiko Otani
弁護士、第60・61回国連総会日本政府代表代理
- シン・レン Xin Ren
米国・カリフォルニア州立大学サクラメント校教授
- 富田 信穂 Nobuho Tomita
常磐大学国際被害者学研究所次長
- アーサー・ウィント Arthur Wint
米国・カリフォルニア州立大学フレズノ校教授

Feb.15 Theme: The Convention and its Contents

◎2月15日(金) テーマ:「被害者人権条約」がめざすもの

9:30～17:30(受付9:00～)

※日・英同時通訳が付きまます。

〈Part I〉 9:30～12:50

基調講演:「被害者人権条約」制定への現況

Keynote Speech: The Current Status of the Convention

講師: マーク・グロエンヒュイセン Marc Groenhuijsen
オランダ・ティルバーグ大学国際被害者学研究所所長

パネル発表 Panel Presentations on the Current Convention

〈コーディネーター〉 Coordinator

○サム・ガルカウェ Sam Garkawe
オーストラリア・サザンクロス大学助教授

〈パネリスト〉 Panelists

- クマラヴェル・チョカリンガム Kamaravelu Chockalingam
常盤大学国際被害者学研究所教授
- ゲルド・キルヒホッフ Gerd Kirchhoff
常盤大学国際被害者学研究所教授
- 緒澤 英道 Hidemichi Morosawa
学校法人常盤大学理事長
- シン・レン Xin Ren
米国・カリフォルニア州立大学サクラメント校教授

〈Part II〉 14:20～17:30

基調講演: 国連による法文書の役割と成功への道

Keynote Speech: The Function of UN Instrument and the Path toward Success

講師: ゲルド・キルヒホッフ Gerd Kirchhoff
常盤大学国際被害者学研究所教授

パネルディスカッション Panel Critique and Discussions

〈コーディネーター〉 Coordinator

○サム・ガルカウェ Sam Garkawe
オーストラリア・サザンクロス大学助教授

〈パネリスト〉 Panelists

- ジャニス・ジョセフ Janice Joseph
米国・リチャード・ストックトン大学教授
- カレン・マクローリン Karen McLaughlin
米国・ボストン憲章人権委員会委員長
- アーサー・ウィント Arthur Wint
米国・カリフォルニア州立大学フレズノ校教授

懇親会 (18:00～19:30) Reception ※参加費は不要です。

Feb.16 Theme: The Strategies for Success

◎2月16日(土) テーマ:条約制定実現への戦略

9:30～16:10(受付9:00～) ※英語のみとなります。

基調講演: 条約の機能を理解する～日本の経験から～

Keynote Speech: Understanding the function of a convention and some examples in Japan

講師: 相澤 恵一 Keiichi Aizawa
国連アジア極東犯罪防止研修所 (UNAFEI) 所長

グループディスカッション Group Discussions

- A: 広報活動の展開 Public Relations
- B: 人的戦略の構築 Targeted Persons
- C: 行動計画の策定 Targeted Events

全体会(グループ発表&総括) Plenary Session



常盤大学への交通アクセス

常盤線「水戸駅」または「赤塚駅」下車、バス(常城交通、JRバス)を利用。
バス停「自由が丘」下車、徒歩5分、または「常盤大学前」下車。
*当日は、駐車場が空かぎりますので、公共交通機関をご利用ください。

シンポジウム参加申込書 Registration Form

FAX:029-232-2522

*お申込み締切: 2008年 2月8日(金) Please send this form by Feb. 8, 2008.

*切り取らずにそのままご返信ください。

・参加プログラム (□に印をつけてください) Please check the box of programs you will attend.

2月15日(金)Feb.15 Part I Part II 懇親会 Reception

2月16日(土)Feb.16 A: 広報活動の展開 B: 人的戦略の構築 C: 行動計画の策定

*参加希望のグループに○をつけてください。
Please circle the group you would like to attend.

Name

・お名前: _____

Names of accompanies if any

・ご同伴者氏名: _____

★今後、研究所からの各種ご案内をご希望の方は、下記にご住所、ご連絡先など差し支えない範囲で記入ください。
ご記入いただいた個人情報は、厳重に保管し、ご本人の同意がない限り、本学主催の講座等のご案内以外の目的に使用することはありません。

Address Home or Office

・ご住所(自宅・所属): (〒 _____)
どちらかに○をつけてください。

Home or Office

・TEL: (自宅・所属): _____
どちらかに○をつけてください。

Belong to

・ご所属: _____
(勤務先、所属団体、学会名、など)

・FAX: _____

・E-mail: _____